

マルチストレス付加型植物育成装置の利用ルール



1. 装置の管理と事前受付について

マルチストレス付加型植物育成装置は大麦グループで保守管理します。利用に関しては、事前に管理責任者（佐藤あるいは前川）に連絡し、説明をうけて下さい。なお、組換体の育成には岡山大学に組換えDNA実験計画を提出して許可を受ける必要があります。

2. 利用申込み

本装置の利用を希望される方は、「植物科学最先端研究ネットワーク利用申請書」により利用申請していただきます。利用案内については、以下のサイトをご覧ください。利用予約表もここからご利用になれます。

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/network/network2.html>

3. 植物の管理について

本装置で栽培できる植物の種類、温度条件等には制約があります。また、植物の管理は基本的には使用者が行いますが、事情によっては管理を引き受けることができる場合がありますのでご相談ください。なお、管理をお引き受けする場合は担当者との共同研究となります。

4. 経費の負担について

利用に関わる電力量・消耗品などについては利用者負担でお願いしますので、各自で準備下さい。メンテナンスについても利用者負担を原則としますが、明らかに過失と認められる故障については利用者で負担していただきます。

5. 謝辞について

最先端研究開発戦略的強化費補助金による機器として、学会・論文発表など成果が出た場合はそれを明記してください。当研究所の共同研究として行う場合は、成果発表はその契約に従って下さい。

6. 連絡先

岡山大学資源植物科学研究所

大麦グループ

佐藤和広 kzsato@rib.okayama-u.ac.jp

ゲノム制御グループ

前川雅彦 mmaekawa@rib.okayama-u.ac.jp